



お た ま 通 信

Vol.39

「およたま通信」名前の由来
大曲出張所が管理している4つの河川、雄物川、横手川、玉川、丸子川の頭文字をそれぞれとって名付けました。

河川工事の現場見学会を開催しました

～地域住民の方々を対象に～

2月23日(土)、大仙市南外の西板戸地区(岳見橋4km下流の左岸地区)の住民を対象とした「西板戸第二樋門新設工事」の現場見学会を開催しました。

当日は、住民26名参加のもと、まず大曲出張所長から雄物川中流部全体の事業概要や水害・治水の歴史等の説明と、施工会社から本工事の概要についてスクリーンに写真を投影したりパネルを用いて説明しました。

次に工事現場に場所を移し、コストを抑えた新技術工法の説明や、実際の樋門の函体部分、ゲート部の据付け後の状況などを見ていただきました。

本工事は、地域の皆さんの生活を洪水から守る重要な工事であり、これからも地域の方々のご理解・ご協力をいただきながら、安全な施工に努めていきたいと思えます。



工事概要などの説明



工事現場の見学の様子

玉川でサケの稚魚放流が行われました

～花館小6年生の卒業とともに～

3月12日(火)、大仙市花館地区の玉川橋右岸下流において、花館小6年生66名によるサケの稚魚放流が行われました。この事業は花館コミュニティ会議の企画により、子ども達に環境保護と命の大切さを知ってもらうことを目的に行われています。この日は子ども達が生育を見守ってきた稚魚を含む約5万匹が放流され、きれいなこの玉川にまた戻ってきてほしいと願い放流していました。



平野事務所長より「玉川は鮭がのぼる貴重な川。誇りに思いきれいな清流を守ってほしい」とあいさつ



「また玉川に戻ってきてね」と願い、放流!